



令和7年度

第1回 四條畷市下水道事業経営審議会

「令和6年度決算状況について」

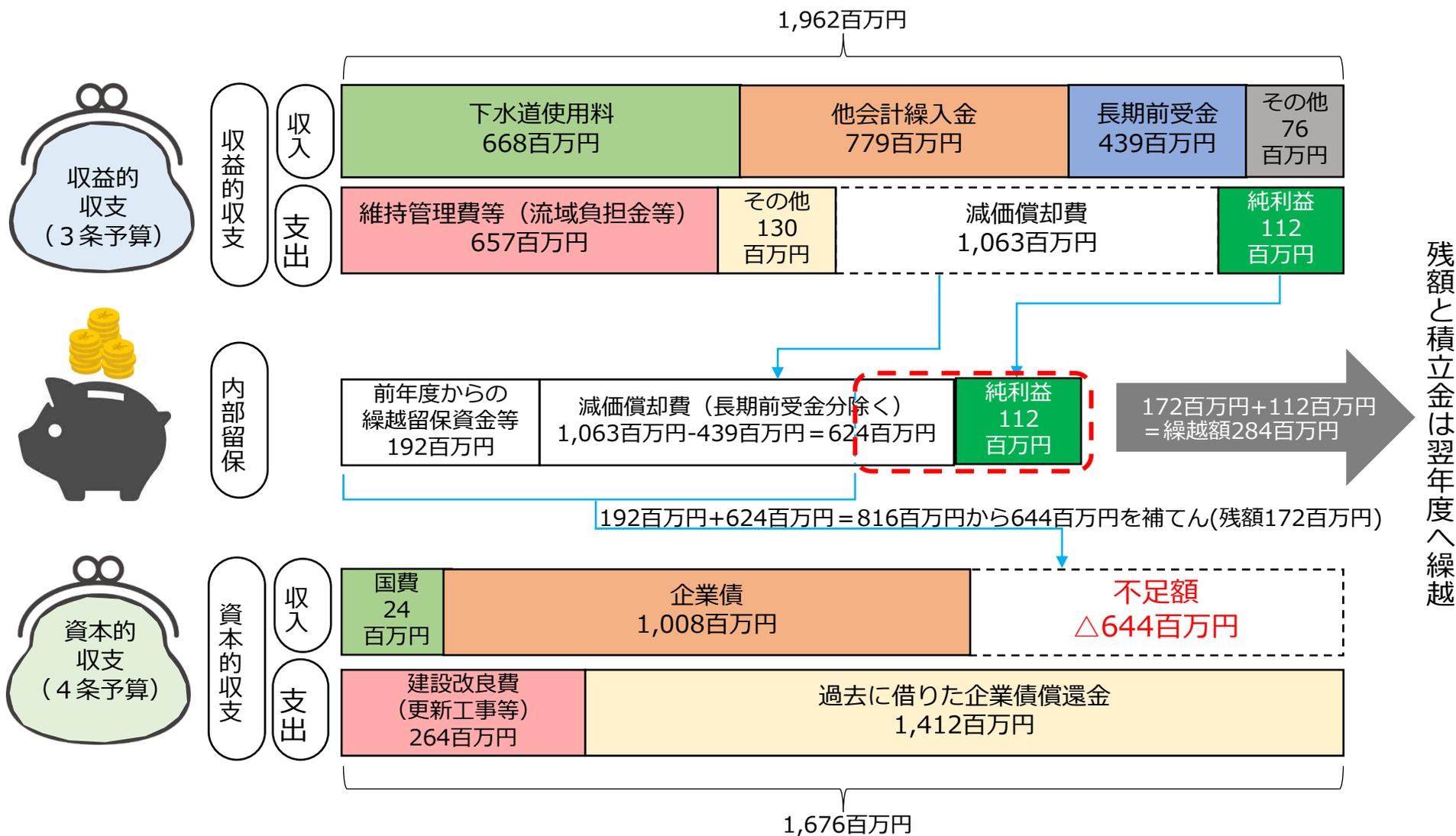
令和8年1月15日(木)

目次

- (1) 下水道事業会計の収支イメージについて
- (2) 人口と使用料
- (3) 収益的収入（税抜き）
- (4) 収益的支出（税抜き）
- (5) 収益的収支（税抜き）
- (6) 経常収支比率及び経費回収率
- (7) 資本的収支（税込み）
- (8) 現金預金残高と企業債残高

1. 令和6年度決算状況について

(1) 下水道事業会計の収支イメージについて



1. 令和6年度決算状況について

(2) 人口と使用料

	決算	経営戦略	増減	増減率
行政区域内人口	53,675人	53,737人	△62人	△0.1%
下水道使用料	668百万円	683百万円	△15百万円	△2.2%

○ 行政区域内人口について

経営戦略の想定に対して、減少はしているものの、大きな乖離はなかった

○ 下水道使用料について

- ・ 環境センター（し尿等の受入れ施設）の有収水量の減少
- ・ 検針日変更による算定期間の短縮（大阪広域水道企業団の事務統一）

これらの要因により、経営戦略での想定に対して、15百万円（2.2%）下回る結果となった

1. 令和6年度決算状況について

補足資料：検針日変更による算定期間の短縮

○ 検針日について

	10月以前	10月以降
検針日	1日～20日前後	1日～15日前後

令和6年度下水道使用料の対象期間

算定期間の短縮前： 2024/3/21～2025/3/20 (365日)

算定期間の短縮後： 2024/3/21～2025/3/15 (360日)

検針日変更により、令和6年度のみ360日分の使用料となっている
令和7年度以降は、以前同様365日分の使用料になる

1. 令和6年度決算状況について

(3) 収益的収入（税抜き）

	決算 (百万円)	経営戦略 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
収益的収入	1,902	1,911	△9	△0.5
下水道使用料	668	683	△15	△2.2
他会計繰入金	779	765	14	1.8
長期前受金戻入	439	439	0	0
その他	16	24	△8	△33.3

経営戦略の想定に対して、他会計繰入金が増加したものの、下水道使用料収入等が下回ったため、収益的収入全体で9百万円（0.5%）の減額となった

1. 令和6年度決算状況について

(4) 収益的支出（税抜き）

	決算 (百万円)	経営戦略 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
収益的支出	1,850	1,884	△34	△1.8
減価償却費	1,063	1,069	△6	△0.6
流域維持管理負担金	467	470	△3	△0.6
人件費・経費	190	215	△25	△11.6
その他（支払い利息等）	130	130	0	0

経営戦略の想定に対して、「人件費・経費」のうち、人件費や、委託料などが下回ったため、収益的支出全体で34百万円（1.8%）の減額となった

1. 令和6年度決算状況について

(5) 収益的収支（税抜き）

	決算 (百万円)	経営戦略 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
収益的収入	1,902	1,911	△9	△0.5
収益的支出	1,850	1,884	△34	△1.8
特別利益	60	12	48	400.0
当年度純利益	112	39	73	187.2

○ 特別利益

国の動力費に対する補助等の影響で、流域下水道維持管理負担金の返還額が増加したことから、経営戦略想定値を48百万円上回った

○ 当年度純利益の算出

$$\begin{aligned} (\text{収益的収入}) - (\text{収益的支出}) + (\text{特別利益}) &= 1,902 - 1,850 + 60 \\ &= 112 \text{ (百万円)} \end{aligned}$$

以上の結果より、当年度純利益は73百万円（187.2%）増の112百万円となった

1. 令和6年度決算状況について

(6) 経常収支比率及び経費回収率

	決算 (%)	経営戦略 (%)	増減 (%)
経常収支比率	102.8	101.4	1.4
経費回収率	105.6	100.3	5.3

【 経営戦略に定めた令和6年度の目標値 】

R6年度の目標値 経常収支比率100%以上

指標の意味	使用料収入や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用が賄えているか
計算式	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$

R6年度の目標値 経費回収率100%以上

指標の意味	使用料収入で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているか（使用料水準を評価する指標）
計算式	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費（公費負担除く）}} \times 100$

収益的支出の減額（△34）が、収益的収入の減額（△9）より大きかったため、経常収支比率、経費回収率ともに、経営戦略の想定を上回り、目標値を達成することができた

1. 令和6年度決算状況について

(7) 資本的収支（税込み）

	決算 (百万円)	経営戦略 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
資本的収入	1,032	1,010	22	2.2
国庫補助金	23	25	△2	△8.0
企業債	1,008	981	27	2.8
その他	1	4	△3	△75.0
資本的支出	1,676	1,660	16	1.0
建設改良費	264	248	16	6.5
うち 建設事業費	76	81	△5	△6.2
うち 流域建設負担金	188	167	21	12.6
企業債償還金	1,412	1,412	0	0
不足額	644	650	△6	△0.9

令和6年度2月議会において、大阪府所管の流域建設事業に係る補正予算を計上

それに伴い、企業債収入および流域建設負担金が増額となった

(8) 現金預金残高と企業債残高

	決算 (百万円)	経営戦略 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
現金預金残高	350	437	△87	△19.9

経営戦略の想定に対して、未払金が減少したため、残高が減少した
(支払い時期が年度内かどうかの違いであり、今後に影響を及ぼすものではない)

	決算 (百万円)	経営戦略 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
企業債残高	10,154	10,127	27	0.3

令和6年度2月議会において、補正を行ったことなどにより想定より残高が減少しなかった